



2025年7月31日
NITE (ナ イ ト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
北 陸 支 所

News Release

汚れ、踏まれ、引っこ抜かれる ～『プラグ・コード・コンセントの事故』で気をつけるポイント～ (北陸3県版)

1. 事故の発生状況

2019年から2024年までの6年間にNITEに通知された製品事故情報^{※1}のうち、北陸3県（富山県、石川県及び福井県）で発生した家電製品の「プラグ・コード・コンセント」^{※2}の事故は7件^{※3}あり、そのうちの5件が火災に関係する事故でした。

- (※1)：消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。
- (※2)：調査の結果、製品本体側の電源コード根元からコンセントまでの箇所（延長コード、テーブルタップ、マルチタップを含む）が原因で発生した事故で、製品本体に起因する事故は除きます。
- (※3)：重複、対象外情報を除いた事故発生件数

表1 県別年別事故発生件数（2019～2024年）

事故発生年		富山県	石川県	福井県	合計
2019年		0	0	1	1
2020年		0	1	0	1
2021年		1	1	1	3
2022年		0	2	0	2
2023年		0	0	0	0
2024年		0	0	0	0
合 計	事故件数	1	4	2	7
	うち火災件数	[1]	[2]	[2]	[5]

表 2 県別被害状況別事故発生件数 (2019～2024 年)

被害状況 ^{※4}		富山県	石川県	福井県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0
	重傷	0	0	0	0
	軽傷	0	0	0	0
物的被害	拡大被害 ^{※5}	1	2	1	4
	製品破損	0	2	1	3
被害なし・不明		0	0	0	0
合 計		1	4	2	7

(※4) : 物的被害があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分しています。また、人的被害(死亡・重傷・軽傷)が複数同時に発生している場合は、最も重篤な分類で事故件数をカウントし、重複カウントはしていません。

(※5) : 当該製品のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としています。

2. 製品事故事例

(1) 電気こたつの「電源コード」が断線、出火した事例

・ 2019 年 12 月 (福井県、女性、90 歳代、製品破損)

【事故の内容】

火災警報器が鳴動したため確認すると、電気こたつの電源コード部を焼損する火災が発生していた。

【事故の原因】

使用者が電気こたつの保管時に電源コードをヒーター一部に巻き付けていたため、電源コードに繰り返し屈曲等の外力が加わり、内部の芯線が断線、スパークが発生して火災に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「コードをねじったり、無理に引っ張ったりしない。」旨、記載されていた。

(2) 「延長コード」に、ほこり、水分の付着や液体などが浸入したことにより出火した事例

・ 2020 年 8 月 (石川県、男性、40 歳代、拡大被害)

【事故の内容】

延長コードを使用中、マルチタップ付近から出火し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

亀飼育用ケースの近くに置かれていた延長コードの内部にペット(亀)の尿が浸入したため、刃受け金具と接続していた電源プラグ刃との間で腐食による接触不良が生じ、異常発熱して焼損したものと推定される。

(本件に関する問い合わせ先)
〒920-0024 石川県金沢市西念 3-4-1
独立行政法人製品評価技術基盤機構
北陸支所 担当者 塚谷、篠崎
電話 : 076-231-0435

以上